

# 資料 1

## 第 2 回検討会での指摘事項等について

---

## 1. 全国版図柄入りナンバープレートの今後の方向性に関する主なご意見

### <全国版の継続に関して>

- 全国版図柄入りナンバープレートを令和9年度以降も交付することについて、交付代行者、標板メーカー等の供給体制を確保し続けることの重要性は認識しているが、供給者の立場だけではなく、ユーザー視点の理由も必要ではないか。
- 全国版図柄入りナンバープレートの月別申込件数のグラフを見ると、車の買換えなどが多い時期に申込が多いと推測できる。実際に車のライフサイクルにおける買換え機会を考えると5年だと交付期間が短いため、現行のデザインで継続することが合理的ではないか。
- ユーザーファーストが一番大事だと認識している。全国版図柄入りナンバープレートの申込件数の推移がこれだけ堅調であることは、評判がいいということなので現行のデザインを継続いただきたい。

### <全国版図柄の種類を複数とすることについて>

- 全国版図柄入りナンバープレートの図柄がもう一つぐらいあると良いが、その場合ユーザーの希望に応えることのできる、より効率的な供給システムの在り方を考えることは必要。
- 現在、全国版図柄入りナンバープレートをつけている方が車を買換えるタイミングで同じ図柄を付けたいという方は少ないと思うので、その際に、ユーザーの選択肢がある状態が望まれるのではないか。
- 寄付金なし（モノトーン）を廃止した場合、供給者の負担が減り、その分全国版図柄入りナンバープレートをもう1種類供給することが可能となるなら、その方が良いと思う。
- 何がユーザーのニーズにヒットするのかを中心に考えつつ、技術面や供給面の課題等の中で何が実施可能かを模索して、2種類目の全国版図柄入りナンバープレートの導入の可否についても長めに議論を行えば良いのではないか。

## 2. その他の図柄入りナンバープレートに関する主なご意見

- 現在の全国版図柄入りナンバープレート以外に選択肢が欲しいという意見はあると思う。それを解決するために、地方版図柄入りナンバープレートの導入がもっと進んでいけばいいと思う。
- 供給システムの現状として、現行では申込から一定の期間内にナンバープレートを交付する必要があることから、交付の可能性がある図柄を全て用意する必要がある。図柄の種類が増えれば用意する対象が増えるため、人気のないナンバープレートは不良在庫となる懸念がある。保管場所や交付体制の費用をユーザーに転嫁することになり、業界としては心苦しい。
- (地方版図柄入りナンバープレート及び都道府県単位の図柄入りナンバープレートの導入により) 選択肢の多い地域と、(地方版図柄入りナンバープレート未導入の) 選択肢の少ない地域の差をどうすべきか、というのは一つ論点になるのかもしれない。都道府県単位の図柄入りナンバープレートを出してもらうことを各都道府県に打診することで、選択肢の多い地域と、少ない地域の差を減らすことが考えられる。また、都道府県版や東北、近畿等の運輸局単位の図柄を導入するのも良いのではないか。

## 3. 諸外国のナンバープレート制度に関する主なご意見

- 高額の寄付金をしていただいたら金の印がつく等何かあればもっと払う人はいるかもしれない。
- 現状の日本の図柄入りナンバープレートは、寄付金控除の対象となっているが、寄付金で控除が受けられることを認識していないユーザーも多いと思うため、もっと寄付金控除をアピールしたら、もっと寄付金を払う人がいるかもしれない。

## 4. 自動車ユーザーに対するアンケート調査に関する主なご意見

<資料2に記載>